

まくせのやしろ
万九千社 立虫神社 社報

神戸の郷

第五六号 平成二十九年お正月

「発行」 正月吉日 代宮家 (錦田)

謹賀新年

新年あけまして

おめでとうございます。

旧年中は、

神社の祭儀、
護持、諸行事
にわたりまし
て、諸々にお
世話いただき



ましたこと厚く御礼申し上げます。

皆様にとりましてこの一年が幸多く、心豊かな浦安の年となりますよう、お祈り申し上げます。

宮司謹白

今季の祭 その一

元日(一月一日)

午前零時の時報に合わせ、新玉の年を寿ぐ太鼓と笛による御神楽を神前に奏します。

この時から、国家で、地域で、神社で、様々なお正月の祭り、行事が始まります。

一、歳日(祭)

【神立の氏子】
午前10時30分より
【千家の氏子】
午前11時40分より

氏神さまをはじめ、八百万の神と共に、新たな年の始まりを祝い、感謝しつつ、今年一年の平和と繁栄、人々の幸せを御祈念する祭儀です。

初詣に合わせて、どうぞ遠慮なく御参拝下さい。

なお、この祭典に合わせて、昔から各地域や家で祭られてきました、日神祭、水神祭、荒神祭も齋行します。

これらの神々を一年の始めにお祭りすることで、氏子の家内安全、農作物の豊穰、諸産業の繁栄を御祈念します。

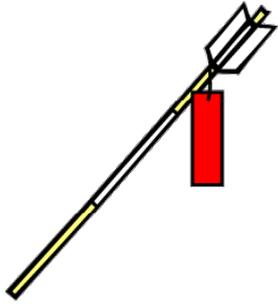
一、厄除祭やくよけさい

午後一時三十分より

今年、数え年六十一歳、四十二歳のいわゆる「厄年やくどし」を迎える方のお祭りです。

神前に厄年を迎えたことを奉告し、無病息災と幸福を御祈念します。

古来、人々が重視してきた人生節目の齢に自分も到達したということを神々に感謝し、静かに省みるお祭りです。そして、これから先も、豊かな人生を歩んで行こうと決意する。そんな感謝と祈願の心が大切なのです。



お知らせ

【新年のお札について】

既に頒布したお札もあります。が、お正月には神棚を清々しくして、三体一緒にお祭り下さい。



① 神宮じんぐう 大麻たいま

日本の総氏神さま、天照大御神をおまつりする伊勢の神宮様からいただくお札

② 産土大神の新年御玉串おんたまぐし

神立、千家の産土大神（う

③ 万九千大神御玉串

ぶすなのおおかみ）である立虫神社の新年のお札
神在祭に、全国の各地から万九千社に集まられた八百万の神様のお札

《あとがき》

▼去る十二月十一日、氏子総代の皆様が力を合わせ、境内に清らかな斐伊川の白砂を敷き撒いて下さいました。寒い中の重労働、誠にありがとうございました。二年前の正遷宮以来となる規模の境内整備でした。これで清々しくお正月のお祭りが齋行できます。お参りの皆様も気持ちよい参拝がかなうでしょう。お世話になることばかりですが、本年もよろしく願います。（宮司）

